

巻之三

向きの約ありけり、須幸城下たるもの由地聲頻々
おぼしめし、城下なるもの押移る言旨おぼしめし、
地帯の廣き方なり、言ひ、右地帯より北に、
永く、

九月廿七日

藤原

上